経営比較分析表（平成29年度決算）

青森県おいらせ町　国民健康保険おいらせ病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	6	－	ド 訓	救
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**看護配置**	
25,300	3,817	第２種該当	１０：１	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
78	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	－	78
稼働病床（一般）	**稼働病床（療養）**	**稼働病床（一般＋療養）**
75	－	75

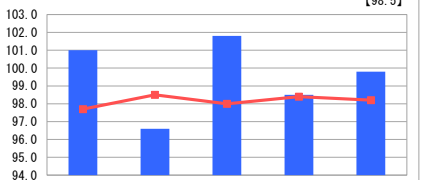
グラフ凡例
- ■ 当該病院値（当該値）
- ー 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

【98.5】

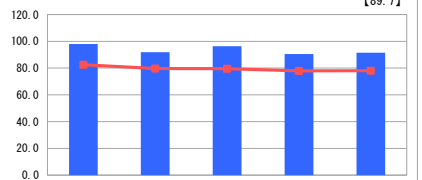


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	101.0	96.6	101.8	98.5	99.8
平均値	97.7	98.5	98.0	98.4	98.2

「経常損益」

②医業収支比率(%)

【89.7】

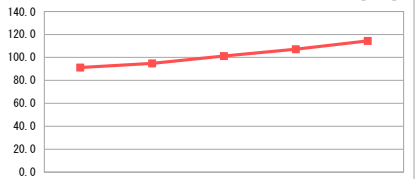


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	97.9	91.8	96.3	90.5	91.5
平均値	82.5	79.7	79.6	77.9	78.1

「医業損益」

③累積欠損金比率(%)

【64.7】

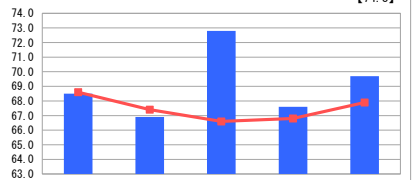


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	91.2	94.9	101.2	107.2	114.4

「累積欠損」

④病床利用率(%)

【74.8】

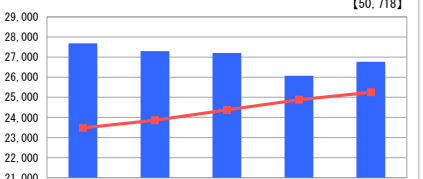


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	68.5	66.9	72.8	67.6	69.7
平均値	68.6	67.4	66.6	66.8	67.9

「施設の効率性」

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

【50,718】

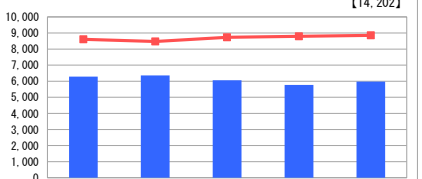


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	27,685	27,299	27,210	26,068	26,769
平均値	23,475	23,857	24,371	24,882	25,249

「収益の効率性①」

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

【14,202】

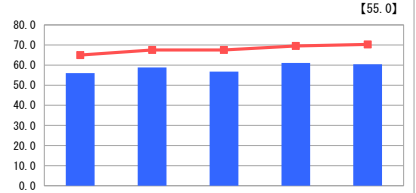


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	6,290	6,359	6,057	5,770	5,978
平均値	8,603	8,471	8,736	8,797	8,852

「収益の効率性②」

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

【55.0】

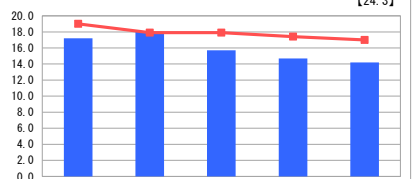


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	56.0	58.8	56.8	61.1	60.4
平均値	65.0	67.5	67.5	69.5	70.3

「費用の効率性①」

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.3】



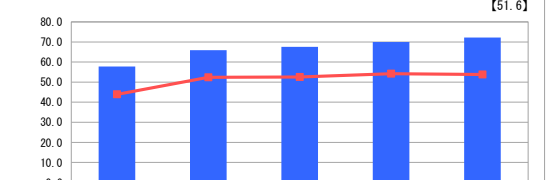
	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	17.2	18.0	15.7	14.7	14.2
平均値	19.0	17.9	17.9	17.4	17.0

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

【51.6】

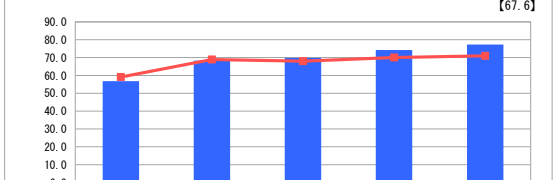


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	57.8	65.9	67.6	70.0	72.2
平均値	43.9	52.4	52.6	54.2	53.8

「施設全体の減価償却の状況」

②器械備品減価償却率(%)

【67.6】

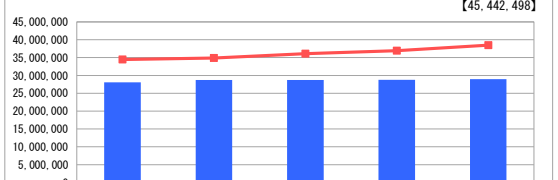


	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	56.8	68.3	69.9	74.2	77.3
平均値	59.1	68.9	68.0	70.0	71.0

「器械備品の減価償却の状況」

③１床当たり有形固定資産(円)

【45,442,498】



	H25	H26	H27	H28	H29
当該値	28,051,731	28,748,910	28,720,936	28,751,872	28,969,654
平均値	34,462,126	34,878,088	36,094,355	36,941,419	38,480,542

「建設投資の状況」

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ 地域において担っている役割

少子高齢化と在宅医療ニーズの増加により、高齢者医療を中心とする地域病院としての役割を担うべく、町内の医療機関及び近隣の介護・福祉施設と連携して在宅医療を進める。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

現状では、経常収支比率、医業収支比率、病床利用率ともに、類似病院平均値と比較して高いので、今後も維持できるよう、外来患者数の長期低落傾向への対策と入院患者の安定確保を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

建物は建築から約37年経過しているが、大規模リフォームを２回実施し、耐震性もあるため、耐用年数までは、水道配管等の補修で対応する。

全体総括

医療圏の中核病院等との連携体制の強化により、数年かけて増床している包括ケア病床を中心に、急性期から回復期への病床機能変更を進め、病床利用率の安定化と効率的かつ効果的な医療体制の構築を図る。新病院建設については、今後10年から15年程度で、県の医療計画と八戸地域医療構想を勘案しながら計画する。